

修正型電気けいれん療法（m-ECT）の御案内

謹啓

諸先生方には益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、当院ではECT専用ユニットにおいてパルス波治療器による修正型電気けいれん療法（以下、m-ECT）を施行しております。

ご存じとは思いますが、パルス波治療器は従来用いられておりましたサイン波治療器に比べ認知障害が少なく、患者様の負担を大きく軽減することができます。また、手術室において習熟度の高い麻酔科医による全身管理を行いながらの施行になっており、十分な安全性を確保しております。

施行を考えられた場合は当講座ホームページより必要事項を記入していただく病状照会をダウンロードして頂けます。直接連絡頂ければFAXでもお送りさせていただきます。病状照会は記入後、FAX又は直接送付下さい。

m-ECT治療の適応である患者様にとって、治療に繋がる機会が広がることを期待しております。

<施行図（イメージ）>

<施行法>

治療器：パルス波治療器

（Thymatron System IV、Somatics社製、米国製）

刺激部位：側頭部両側性

施行頻度：2回／週×4～6週

施行場所：当院ECT専用ユニット

<麻酔法>

麻酔薬：チアミラールナトリウムなど

筋弛緩薬：スキサメニウムなど

麻酔施行者：当院麻酔科医

<適応疾患>

薬物抵抗性、薬剤による副作用が顕著、緊急性（自殺切迫、身体衰弱）などが認められる下記疾患

- ・ 大うつ病性障害
- ・ 統合失調症
- ・ 双極性障害
- ・ 統合失調感情障害

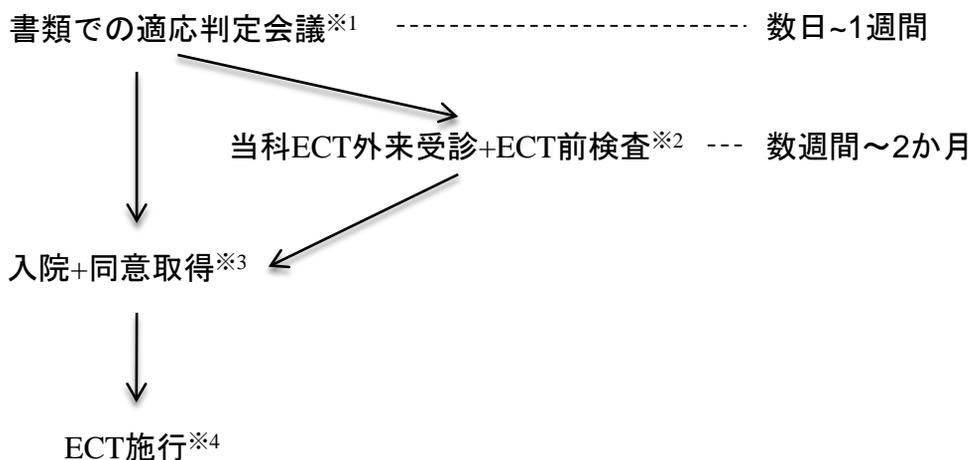
今回の資料はあくまで主治医の先生のご参考までにご用意しました。

直接患者様や御家族にお渡し頂くための資料ではございません。

複写等を用いられて患者様や御家族にお渡し頂くことはご遠慮下さい。



<当院におけるm-ECT施行手順>



※1の結果、当院への入院を直接行っていただく場合と外来診察に訪れて頂く場合があります。

※1、※2、※3の結果、精神・身体状態を勘案させて頂き、ECT施行の適応外とさせて頂くことがあります。申し訳ありませんが、ご了承ください。

※3 ECTの施行は入院のみで行っています。

※4 ECT施行前後に必要と考えられる薬物調整を行わせて頂くことがあります。

今回の資料はあくまで主治医の先生のご参考までにご用意しました。

直接患者様や御家族にお渡し頂くための資料ではございません。

複写等を用いられて患者様や御家族にお渡し頂くことはご遠慮下さい。

その他御不明な点がございましたら、下記まで御連絡ください。

受付窓口:06-6992-1001 関西医科大学総合医療センター精神神経科

精神保健福祉士 鈴木美佐

医師

嶽北佳輝 青木宣篤 吉村匡史 木下利彦

参考資料

様

現在のあなたの精神状態に対し、修正型電気けいれん療法が有効と考えますので、この治療についての情報提供をさせていただきます。この治療法は、1938年から主に精神科領域で施行されており、薬物療法よりも歴史のある治療法で保険適応が認められたものです。また、多くの患者様に対して行われた実績や、麻酔科医と連携して行うことで安全性を担保したものとなっています。当院においても薬物治療抵抗性のうつ病患者様や昏迷状態を呈した患者様を中心に良好な治療成績を得ています。

本治療を受けるかについては患者様(もしくは代諾者様)の意思にお任せします。一旦、同意をされた後でもご希望があれば中断し、別の治療を受けていただくことができますので、その場合はご遠慮なくお申し出ください。

主な適応

- 希死念慮の強いうつ病や、精神症状のため食事が摂れずに生命に危険が迫っており、できるだけ早い治療が望まれる場合。
- 薬物療法で副作用が出現しやすいもしくは薬物療法の反応が不十分で日常生活を送ることができない場合。

実施方法 麻酔科の協力のもとに『修正型電気けいれん療法』を行います。

- ①治療は当院北館の ECT ユニットで行います。
- ②麻酔科医師が全身麻酔の下、筋弛緩薬を用いてけいれん時の筋挫滅を防ぎます(片腕の前腕だけは筋弛緩薬が到達しないようにして、視覚的にけいれん発作を確認できるようにしています)。
- ③併せて施術中は血圧管理や呼吸管理を行った上で数秒間(およそ 5 秒程)両側側頭部に通電し、けいれん発作を誘発します。けいれん発作を確認後、意識や呼吸状態に問題がないことを麻酔科医師と確認して帰棟します。
- ④帰棟後、すぐには帰室せずに病棟の処置室でスタッフがしばらく経過を観察します。
- ⑤週 2 回の頻度で、おおよそ計 8~12 回程度行います。治療効果により早めに中止したり、更に続ける場合もあります。

※全身麻酔後や通電後にせん妄状態を呈する場合があります、その際には一時的に本人様の安全を守るために行動を制限させていただく場合があります。

副作用・危険性 施術後に少しぼんやりしたり、混乱してしまう事がありますが通常は1時間以内で治ります。その後、軽い頭痛や筋肉痛が出現する場合がありますが、翌日にも持ち越すことは殆どありません。また、施術直前の記憶や記憶力が一過性に低下する事がありますが、多くの場合は治療終了後1ヶ月以内には回復し、長期的に知的能力や記憶に影響を及ぼすこともありません。死亡事故が起こることは極めて稀であり、8万回に1回程度とされています。治療中の全ての期間において、万が一身体的に大きな問題が生じた際には緊急処置を行います。

治療効果 多くの方で修正型電気けいれん療法の治療コース終了後に十分な治療効果を得ることが出来ませんが、必ずしも全ての方が症状の改善につながる訳ではありません。急速に回復される方もおられれば、緩徐に回復される方もおられますし、全く効果がない方もいない訳ではございません。また、すっかり回復された方でも症状が再燃する方もおられます。そのため、修正型電気けいれん療法が1クール終了した後に効果維持のための薬物療法や定期的な維持けいれん療法を実施される方も多くおられます。

関西医科大学総合医療センター 精神神経科 年 月 日 説明医師 _____

私(代諾者)は、修正型電気けいれん療法について上記の内容に関する説明を受け、十分に納得したためこの治療を受けることに同意します。

患者本人 _____ 印

保護者または保証人(続柄) _____ 印